

## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ラスピカ
会社名	株式会社 タセト
住所	神奈川県藤沢市宮前 100-1
電話番号	0466-29-5638
緊急時の電話番号	0466-29-5638
FAX番号	0466-29-5630
推奨用途及び使用上の制限	ステンレス鋼等のもらい錆除去剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分2A
環境に対する有害性	オゾン層への有害性	区分外

\* 記載のない物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性は、分類対象外か分類できない。

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

皮膚刺激  
強い眼刺激

## 注意書き

## 【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 【応急措置】

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

## 【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を、専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量

化学名	濃度(wt%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
水	70~80	7732-18-5	—
有機酸アンモニウム塩	20~30	5421-46-5	該当なし
界面活性剤類	<1	非公開	非公開
防腐剤、その他	<1	非公開	非公開

## 危険有害成分

I) 化学物質排出把握管理促進法

非該当

II) 労働安全衛生法 57条の2

通知対象物質 非該当

毒物劇物取締法

対象物ではない

**4. 応急措置**

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。 水と石鹸で洗うこと。
目に入った場合	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。
予想される急性症状及び遅発性症状	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 データなし

**5. 火災時の措置**

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特定危険有害性	燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。
特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置	個人用保護具を着用する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項 回収・中和 封じ込め及び浄化方法・機材	環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。 大量の流出には盛土で困って流出を防止する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い	技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。 作業中、蒸気やミストが発生するので、換気、局所排気を用いる。
	局所排気・全体換気	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	安全取扱い注意事項	取扱い後は手や顔などをよく洗う。 眼に入れないこと
保管	接触回避	データなし
	技術的対策	消防法の規制に従う。
	混触危険物質	データなし
	保管条件	容器を密閉して冷暗所で保管すること。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
	容器包装材料	法令の定めるところに従う。

**8. ばく露防止及び保護措置**

管理濃度	設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値)	
日本産衛学会(2012年版)	未設定
ACGIH(2011年版)	未設定

設備対策		作業者が直接ばく露されないように、できるだけ密閉化した設備又は全体換気装置、局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防毒マスク、簡易防毒マスク等。 適切な保護手袋を着用すること。 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 保護衣。状況に応じ、保護長靴。
衛生対策		取扱い後はよく手と顔を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色透明(淡紫色の場合あり)
	臭い	硫黄臭
	pH	6~8
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		なし(非危険物)
自然発火温度		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
比重(密度)		1.1~1.2
溶解度		データなし
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性		通常の保管及び取扱においては安定。
危険有害反応可能性		特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		酸化剤(過酸化水素等)
危険有害な分解生成物		一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入	吸入(ガス): データなし
		吸入(蒸気): データなし
		吸入(ミスト): データなし
皮膚腐食性・刺激性		皮膚刺激性がある。(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性		眼に入ると刺激があり、放置すると粘膜が侵される。(区分2A)
呼吸器感受性又は皮膚感受性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		IARC = 情報なし NTP = 情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
吸引性呼吸器有害性		情報なし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)		情報なし
水生環境有害性(長期間)		情報なし
生態毒性		魚類、甲殻類、藻類: 情報なし 残留性/分解性: 情報なし 生体蓄積性(BCF): 情報なし
オゾン層への有害性		区分外

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

**14. 輸送上の注意**

国際規制 海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

UN No.

該当しない

国内規制 陸上規制情報

該当しない

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

特別安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

—

**15. 適用法令**

労働安全衛生法

表示対象物質：非該当

通知対象物質：非該当

有機溶剤中毒予防規則：非該当

特定化学物質等障害予防規則：非該当

消防法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法  
(PRTR法)

非該当

水質汚濁防止法

有害物質：有機酸アンモニウム塩を含む。

**16. その他の情報**

参考文献等：

- 1) 中央労働災害防止協会「GHSモデルMSDS情報」
- 2) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 3) JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 4) ㈱タセト 社内資料(原材料MSDS)

**記載内容の取扱い**

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。